

## シンポジウム

### 「食道癌の内視鏡下手術—2015年までの総括—」

S

司会：宇田川晴司（虎の門病院 消化器外科）  
村上 雅彦（昭和大学医学部 消化器・一般外科）

- S-1 我が国における胸腔鏡下食道切除術—その現状とエビデンスの構築に向けて—  
竹内 裕也（慶應義塾大学 医学部 外科）
- S-2 Propensity Score を用いた食道癌に対する胸腔鏡手術の評価  
李 栄柱（大阪市立大学大学院 消化器外科）
- S-3 胸腔鏡下食道癌根治手術の治療成績と今後の展望—開胸手術からの変化—  
上野 正紀（虎の門病院 消化器外科）
- S-4 教室における食道癌に対する胸腔鏡下手術 20年 700例の変遷と成績  
大塚 耕司（昭和大学 医学部 消化器・一般外科）
- S-5 右開胸食道切除，左側臥位胸腔鏡下食道切除，腹臥位胸腔鏡下食道切除の比較  
桑原 史郎（新潟市民病院 消化器外科）
- S-6 当科における腹臥位胸腔鏡下食道手術 200例の総括  
白川 靖博（岡山大学医学部 消化器外科）
- S-7 Thoracoscopic esophagectomy の標準治療としての妥当性  
大幸 宏幸（国立がん研究センター東病院 食道外科）
- S-8 側臥位より腹臥位にさらに robotic surgery へ胸腔鏡下食道切除術 256例の長短期成績  
能城 浩和（佐賀大学 医学部 一般・消化器外科）
- S-9 当科における胸腔鏡下食道手術の変遷—用手補助下手術から腹臥位手術への移行—  
海老原裕磨（北海道大学医学研究科 消化器外科 II）
- S-10 鏡視下気縦隔アプローチによる根治的非開胸食道切除術  
藤原 齊（京都府立医科大学 消化器外科）